

大阪湾漁場環境速報

平成31年2月2日発行
兵庫のり研究所

この海域全般に大型珪藻コシノディスカスが確認されます。また神戸空港周辺や大阪府沿岸域ではスケルトネマが大量発生しており、その海域においてリンが低い値を示しました。窒素は陸水等の影響が見られた一部調査地点を除き、概ね3~4 μg-at/L台でした。

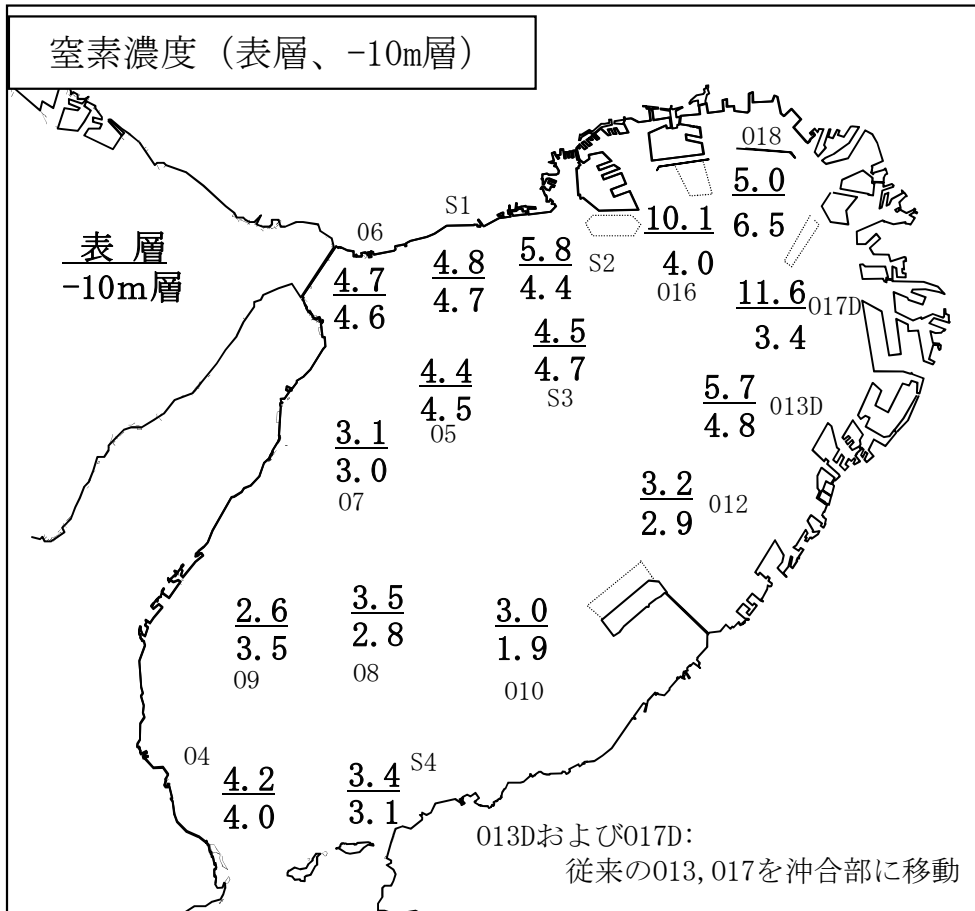
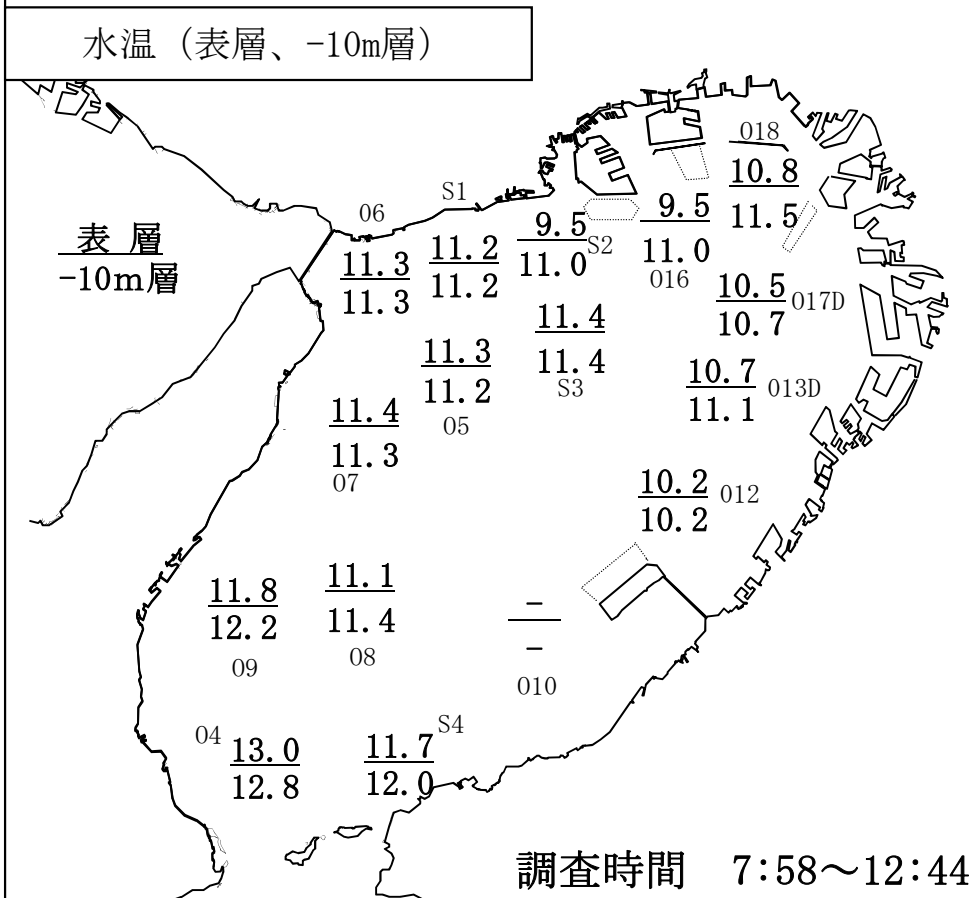
(水温) 表層は一部を除き湾内9~11℃台で、平均11.1℃(平年比+1.6℃)。-10m層は平均11.4℃(表層と同じく平年比+1.6℃)。

(塩分) 表層平均31.90psu(平年 31.26)。-10m層平均32.23psu(平年 32.06)。

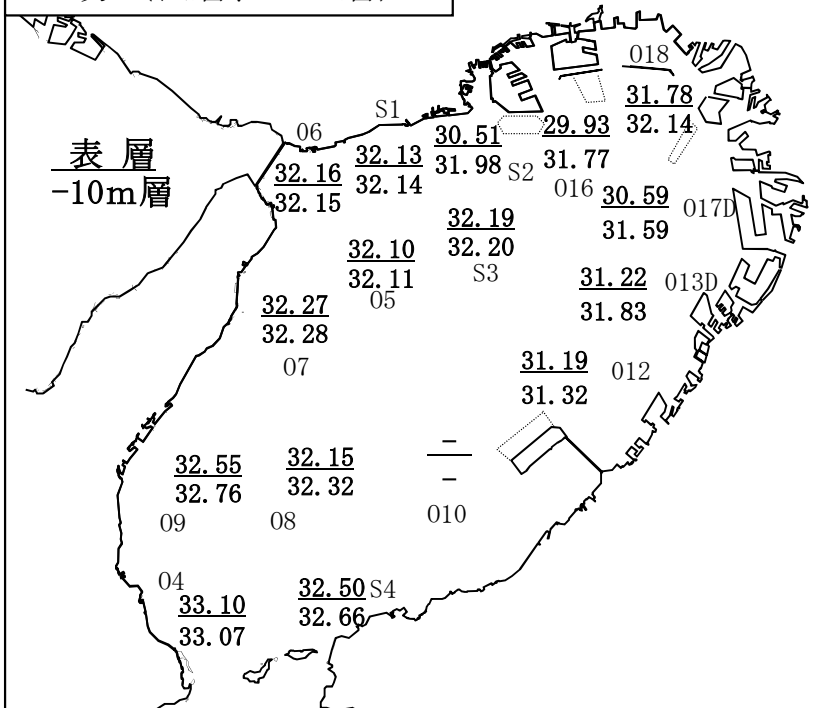
(栄養塩、他) 表層の窒素は平均4.4 μg-at/L、リンは平均0.29 μg-at/L。窒素は平年よりやや低くリンは平年並。-10m層(平均)は、窒素3.7 μg-at/L、リン0.33 μg-at/L。-10m層は窒素・リンともにほぼ平年並の値であった。神戸空港周辺や大阪南港から関西空港周辺にかけて、スケルトネマによる赤潮が見られリンの値が低いものの、陸水等(水温・塩分が低い)の影響もあり窒素は概ね5 μg-at/L以上であった。それ以外の海域では、窒素が概ね3~4 μg-at/L台で、リン濃度の低下は見られない。

上段(今回値)	平成31年2月1日調査
中段(昨年値)	平成30年2月2日調査
下段(平年値)	2月上旬

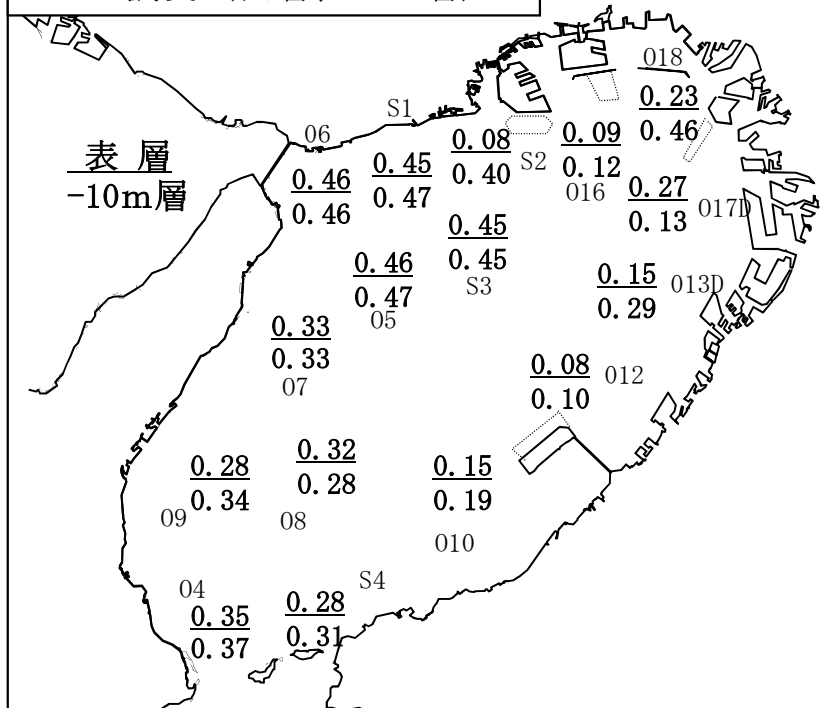
調査地点	水温(℃)	塩分(psu)	三態窒素(μg-at/L)	磷酸(μg-at/L)
04	13.0	33.10	4.2	0.35
	10.3	32.34	4.2	0.32
	10.6	32.49	4.2	0.38
05	11.3	32.10	4.4	0.46
	9.3	31.99	3.5	0.42
06	9.3	31.81	3.7	0.34
	11.3	32.16	4.7	0.46
07	9.1	31.94	3.5	0.39
	9.3	31.34	5.0	0.29
08	11.4	32.27	3.1	0.33
	8.4	31.15	2.2	0.13
09	9.5	31.79	3.1	0.30
	11.1	32.15	3.5	0.32
10	10.9	32.67	4.7	0.39
	10.1	32.06	2.9	0.29
12	11.8	32.55	2.6	0.28
	10.9	32.67	4.3	0.40
13D	10.1	32.09	3.2	0.32
	8.7	31.20	3.0	0.15
16	9.2	31.33	2.1	0.14
	10.2	31.19	3.2	0.08
17D	7.4	30.60	2.4	0.06
	8.8	30.61	7.2	0.26
18	10.7	31.22	5.7	0.15
	7.1	30.29	2.3	0.06
S1	8.7	29.79	11.1	0.27
	9.5	29.93	10.1	0.09
S2	7.0	26.35	38.9	0.62
	8.7	28.79	17.2	0.32
S3	10.5	30.59	11.6	0.27
	7.4	27.45	29.4	0.34
S4	8.9	28.92	19.6	0.38
	10.8	31.78	5.0	0.23
018	8.1	27.23	15.1	0.09
	8.8	27.37	28.0	0.54
013D	11.2	32.13	4.8	0.45
	6.6	27.44	18.7	0.12
017D	8.8	30.49	9.3	0.27
	9.5	30.51	5.8	0.08
016	7.5	28.28	12.9	0.09
	8.9	29.92	10.6	0.25
013D	11.4	32.19	4.5	0.45
	8.9	31.91	3.4	0.40
017D	9.3	31.33	5.2	0.28
	11.7	32.50	3.4	0.28
013D	11.2	32.81	4.8	0.42
	10.4	32.31	3.3	0.31



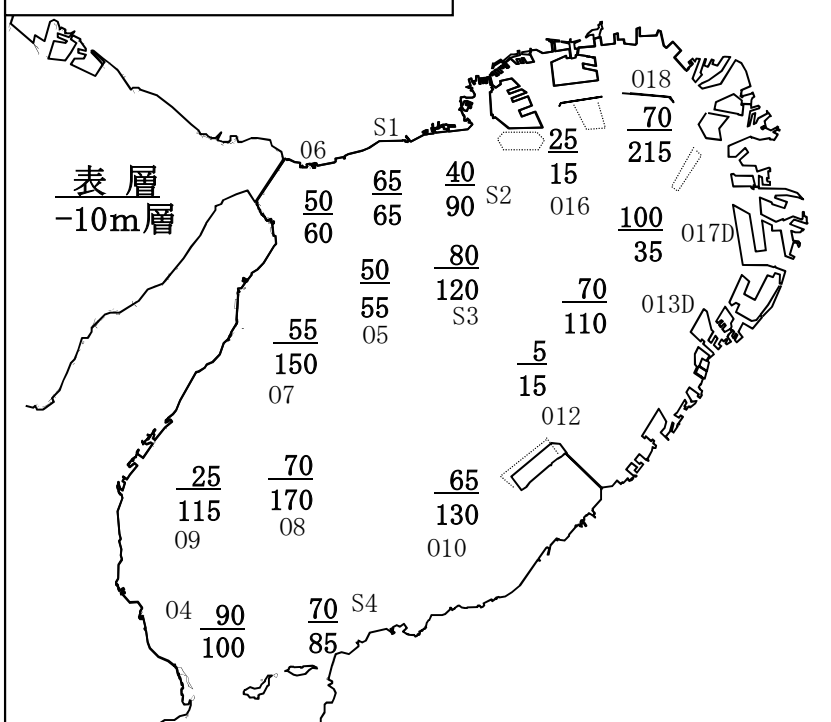
塩分 (表層、-10m層)



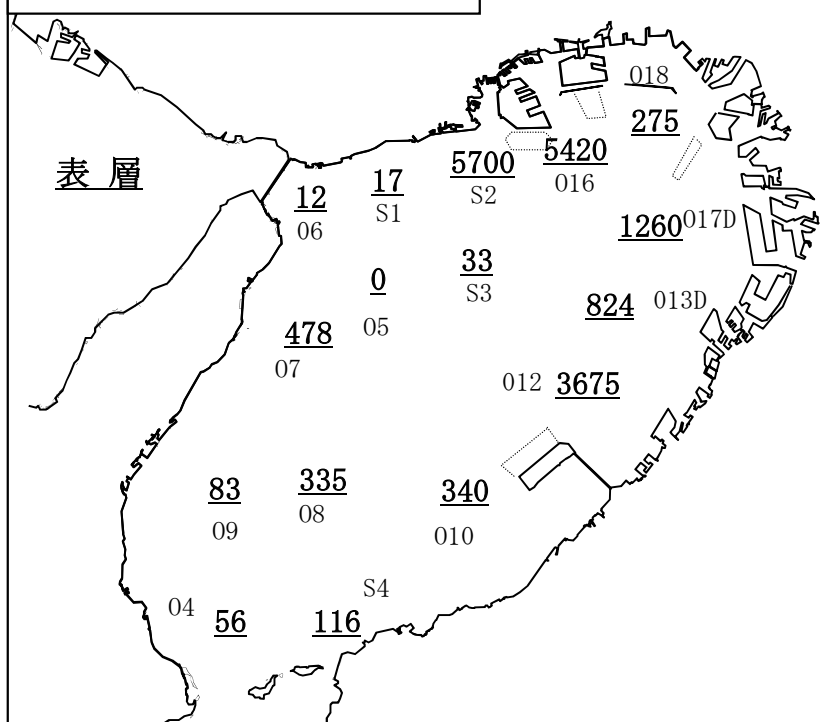
リン濃度 (表層、-10m層)



コシノディスカス (細胞/L)



スケルトネマ (細胞/ml)



ユーカンピア (細胞/ml)

